

インフラ・ベース・アプリケーション領域一体型
SAP S/4HANA コンバージョン計画立案支援

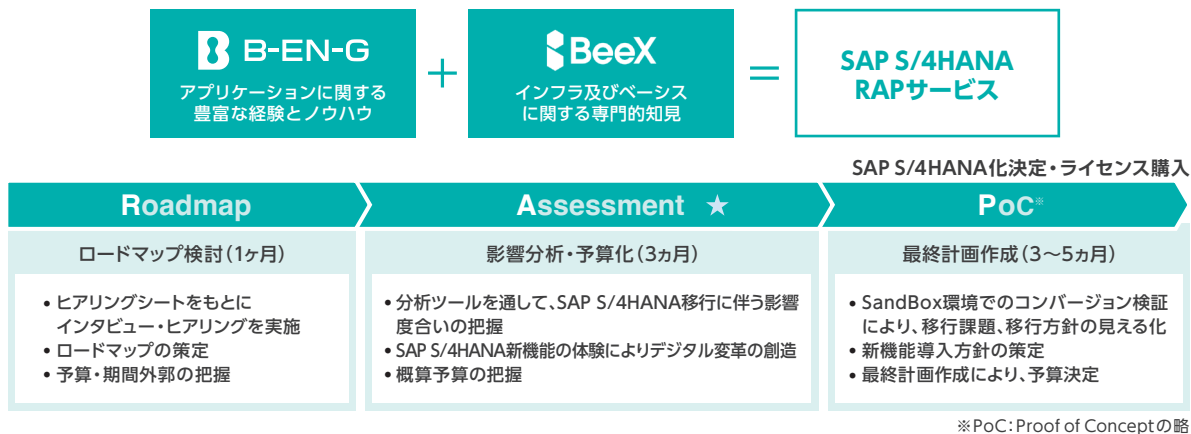
SAP S/4HANA RAPサービス

SAP S/4HANAへの移行は、現行のハードウェアやOS・ミドルウェアの保守期限などを踏まえた移行時期、SAP ERP 6.0との相違、現行アドオン部分の取り扱い、周辺業務領域との切り分けといったアプリケーション視点での問題や、移行時の許容ダウンタイムや費用・期間の把握など移行そのものに関わる問題を、総合的な視点で検討して課題を乗り越える必要があります。

「RAPサービス」は、インフラおよびSAPベースに専門的知見を有するBeeXと、アプリケーションの機能に知見を有するB-EN-Gが一体となって、基幹システムの周辺領域も含めた検討を行い、お客様のSAP S/4HANAコンバージョン計画立案を支援します。

「RAPサービス」とは

「RAPサービス」は、インフラ・ベース・アプリケーション領域一体型のサービスです。SAP S/4HANA移行計画立案を、ロードマップ(Roadmap)、アセスメント(Assessment)、PoC (Proof of Concept) の3段階に分けて個別にご提供します。



「RAPサービス」の特徴

1 事前検討を3つのサービスに分離、Step1「Roadmap」を組み込み、移行方針、予算、期間の外郭を早めに把握

全体像をつかむ段階を踏むことにより、具体的な範囲を対象にするアセスメントの手戻りなどの無駄も排除。しかもStep1は短期間、定額で提供

3 デジタル変革への対応を事前に検討

既存ERPの経験の豊富さだけでなく、SAPのクラウド製品も取り扱うB-EN-Gならではの幅広い知見で、利用可能な新機能・変革モジュールの分析・検討結果を提供

2 インフラ・ベース・アプリケーション領域一体型のサービス

周辺アプリケーションも含め、総合的な見地から、移行方針、予算、期間などの計画立案が可能

4 クラウド環境の活用により手軽に迅速に

Assessmentデモ環境、PoC実行環境としてAWSクラウド環境の提供

インフラ・ベシス・アプリケーション領域一体型 SAP S/4HANA コンバージョン計画立案支援 SAP S/4HANA RAPサービス

サービス内容

SAP S/4HANA RAPサービスは、3つのStepで進めます。

Step1では、移行方式の推奨、インフラ環境の推奨やSAP S/4HANAコンバージョン全体の大まかな期間と費用の外郭を算出します。
Step2のアセスメントでは、より具体的に対象となる領域を定め、デモ環境も利用しながら移行に伴う影響度を測り、新機能の適用可否や個別予算を算出します。

Step3のPoCでは、サンドボックス環境での検証などを踏まえた最終計画を作成します。

Roadmap

Assessment ★

PoC

Step1 Roadmap ご提供内容

■ ヒアリング、調査実施

- ・ ヒアリングシートの提供、説明
- ・ インタビュー・ヒアリングの実施
- ・ 必要に応じ、既存環境の調査

■ ロードマップ策定、ご報告

- ・ 推奨移行方針の提示
(新規導入&Dataマイグレーション方式 or コンバージョン方式)
- ・ SAP S/4HANA 新機能への対応方針の提示
- ・ ラフサイジングの実施と推奨インフラ環境の提示
- ・ ラフスケジュール、費用外郭の提示



● 成果物イメージ



サービス提供価格

- Step1 Roadmap サービス | 定額 200万円 (消費税含まず) ※期間: 1ヶ月
- Step2、Step3 | Step1の結果を経て、範囲・期間など決定ののち算出

B-EN-G ビジネスエンジニアリング株式会社

ソリューション事業本部: 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI大手町ビル 電話:03-3510-1622

関西支店: 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-1-1 新大阪プライムタワー4階 電話:06-6390-1205

SAPおよび記載のSAP製品は、SAP SEの商標または登録商標です。
その他の記載の社名・製品名は各社の商標または登録商標です。